

# 学校タイムズ

令和5年12月21日  
新潟市立大野小学校  
第8号

HP <http://www.ohno-e.city-niigata.ed.jp/>

## 「自立した学習者」を育成する授業改革と学力の向上

校長 片山 敏郎

大野小学校では、今年度、全学年学級で毎日iPadを使い、学習の基盤となる資質・能力である「情報活用能力」を育成するとともに、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した授業改革に取り組んでいます。

iPadは、便利なツールですが、ただ使えば学力が向上するというものではありません。常に教師が指示をし、指示どおりに使うといった「デジタル一斉学習」ばかりでは、学力は向上しません。なぜなら、学力を向上するには、「学びに向かう力」やデジタル時代の新しい「学び方」を身に付けさせ、自ら学びを深めていける「自立した学習者」に育てていかねばならないからです。

「学びに向かう力」とは、「主体的に学習に向かう態度」のことです。分かりやすく言うと、学ぶことが好きであり、粘り強く学びに向かう気持ちをもっていることです。そのような力を高めるためには、日々の授業の中で、質の高い学習課題を設定し、先生の指示で行うばかりでなく、自分自身が選択・判断しながら学びを進めることができるような学習場面を意図的につくる必要があります。

また、デジタル時代の新しい「学び方」とは、大量の情報から課題を解決するために必要な情報を効率的に集める方法や、集めた情報を基に、思考ツール等を活用して整理・分析しながら思考を深める方法、友達と協働して学ぶ方法などです。デジタル時代の新しい「学び方」を身に付けるためには、日常の授業で自分自身がiPadを操作しながら課題解決する時間をできるだけ増やすとともに、子どもが見出した良いやり方を見つけて褒めて価値付けて、他の子供たちに広げていく教員の指導力が求められます。

そこで、大野小学校では、教職員が日々の授業で行っている工夫を共有したり、お互いの授業を批評しあう授業研究を全教員が行ったりしています。また、教育委員会や他自治体、学校等からの視察を授業力向上のチャンスと捉え、積極的に授業公開をしています。

間違いないのは、専門職である教員の力量形成無くして、子どもの学力向上はありません。iPadが1人1台整備されているという世界でもまれにみる恵まれた学習環境を最大限生かし、「学びに向かう力」や「学び方」を身に付けた、「自立した学習者」を育成していくための授業改革を進めていきます。

